様式１－１

地域文化財総合活用推進事業　実施計画

1 都道府県・市区町村名	広島県・尾道市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	尾道市文化遺産を活用した地域活性化	【計画の改善時期】 平成 ３１ 年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 35 年度 5年以内としてください。		

5 実施計画の概要

尾道教育総合推進計画（平成２２年度策定）及び尾道市歴史文化基本構想（平成２２年度策定）並びに尾道市歴史的風致維持向上計画（平成２３年度策定）を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。
また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。
１．尾道文化遺産の祭典の開催
２．市内文化遺産映像記録事業
３．民俗芸能の総合的な情報発信事業
４．尾道文化遺産コーディネーターの養成・尾道文化遺産塾の開催

6 実施体制

尾道市が、本実施計画に係る全体の調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。企画財政部文化振興課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等　また、補助事業は次の団体が実施する。尾道文化遺産塾実行委員会[委員長：稲田全示]　構成団体（尾道市立大学、池坊広島県連、尾道学研究会、公財）日本民謡協会、尾道もりあげ隊、尾道観光協会、一社）日本伝統芸術国際交流協会）

7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	（1）補助金額	～平成30年度交付決定額： 2,410 千円	平成31年度申請額： 3,013 千円
	（2）実施事業の概要	別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

地域の文化遺産に対する市民の関心や愛護意識が向上し、地域の文化遺産の保存や、次世代への確実な継承が図られるとともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制が構築される。

10 その他事業（自主財源，民間団体，他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	地元ケーブルテレビの協力を得て、本計画に関する特集番組を制作・放映（予定）する。
事業概要：	尾道市史編さん事業により文化遺産の調査及び記録作業を実施する。
事業概要：	尾道市史編さん事業により文化遺産を詳細に解説した冊子を刊行する。

11「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定，「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

歴史文化基本構想及び歴史的風致維持向上計画は策定・認定済である。

12 担当部局

地方公共団体担当部局課	尾道市企画財政部文化振興課

7 実施計画における目標と期待される効果　別紙

目標区分１：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分１：	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数　（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標１：	おのみち歴史博物館、因島史料館、瀬戸田歴史民俗資料館の入館者数	関連事業：	おのみち歴史博物館特別展			
目標値１：	【現状値】 平成 30 年度 26,000 （人） ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 36,000 （人）					
設定根拠１：	３館で年間２，０００人の入館者増					
進捗状況１：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	
目標区分２：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分２：	地域の文化遺産への来場者数　（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標２：	おのみち歴史博物館、爽籟軒庭園、尾道商業会議所記念館の入館者数	関連事業：	おのみち商業会議所記念館企画展			
目標値２：	【現状値】 平成 30 年度 41,000 （人） ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 51,000 （人）					
設定根拠２：	３館で年間２，０００人の入館者増					
進捗状況２：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	
目標区分３：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分３：	地域に誇りを感じる住民の割合　（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標３：	イベント等でのアンケートによる集計	関連事業：	文化財講座			
目標値３：	【現状値】 平成 30 年度 54 （%） ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 79 （%）					
設定根拠３：	毎年５％の割合増					
進捗状況３：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	
目標区分４：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分４：	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数　（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標４：	JR尾道駅の年間乗降客数	関連事業：	日本遺産魅力発信推進事業			
目標値４：	【現状値】 平成 30 年度 440,000 （人） ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 450,000 （人）					
設定根拠４：	年間２，０００人の乗降者数増					
進捗状況４：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	

8（2）実施事業の概要　別紙

事業①：	尾道文化遺産コーディネーターの養成講座	実施団体：	尾道文化遺産塾実行委員会
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成　31　年度　～　平成　35　年度
事業概要：	尾道文化遺産総合活性化プロジェクトの成功のため、地域の歴史、伝統文化、工芸、芸能などについて学び、尾道の文化遺産の魅力の紹介に取り組む市民ボランティアである尾道文化遺産コーディネーターの養成講座を年６回程度開催する。		
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	講座参加者中から約５０名を目標として、ボランティアリーダーとして「尾道文化遺産まつり」の運営委員などに育成し活動を継続する		
目標値：	【現状値】　平成　30　年度　300　（人）　⇒　【目標値】　平成　35　年度　1,000　（人）		

進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度	平成　35　年度	平成　36　年度
（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）

事業②：	「尾道文化遺産まつり・２０１９」の開催	実施団体：	尾道文化遺産塾実行委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成　31　年度　～　平成　35　年度
事業概要：	「尾道文化遺産まつり・２０１９」を開催し、その期間中、文化財施設などにて、伝統芸能の実演、展示や体験講座など、文化財の魅力を紹介する市民まつりを開催する。尾道市の文化財を開放し、普段入れない場所や、その会場で地元の伝統芸能の上演や衣食住をテーマに文化遺産まつりを開催し、多くの市民の参加を募る。		
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	継続で開催し、新聞、テレビなど、市民の人々に広く広報し、多くの市民が「尾道文化遺産まつり」に興味と理解を深め、参加者の増加を目指す。		
目標値：	【現状値】　平成　30　年度　300　（人）　⇒　【目標値】　平成　35　年度　1,000　（人）		

進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度	平成　35　年度	平成　36　年度
（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）

事業③：	尾道文化遺産・寺子屋塾	実施団体：	尾道文化遺産塾実行委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成　31　年度　～　平成　35　年度
事業概要：	「尾道文化遺産まつり・２０１９」開催期間中に次世代継承のために、地域の親子が伝統文化、芸能などを楽しく分かりやすく学び、体験できる機会として、ワークショップや文化遺産親子スタンプラリーを開催する。子どもたちが文化財を訪れ、文化財の解説を聞いたり、地元の伝統芸能や文化財を活用したアーティストによるワークショップなどを体験したりすることによって、文化遺産に親しむ機会をスタンプラリーの形態で楽しく参加できるようにする。		
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	継続で開催し、新聞、テレビなど、市民の人々に広く広報し、多くの市民が「尾道文化遺産まつり」に興味と理解を深め、参加者の増加を目指す。		
目標値：	【現状値】　平成　30　年度　6　（回）　⇒　【目標値】　平成　35　年度　10　（回）		

進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度	平成　35　年度	平成　36　年度
6　（回）	7　（回）	8　（回）	9　（回）	10　（回）	11　（回）
0%	25%	50%	75%	100%	125%